

行政事業レビューシート (文部科学省)

予算事業名	芸術創造活動特別推進事業等の推進		事業開始年度	平成14年度		作成責任者
担当部局庁	文化庁		担当課室	芸術文化課 伝統文化課 美術学芸課		芸術文化課長 山崎 秀保 伝統文化課長 白間 竜一郎 美術学芸課長 栗原 祐司
会計区分	一般会計		上位政策	芸術文化の振興		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文化芸術振興基本法 第10条、第11条、第14条、第25条、第26条		関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針 (第2次基本方針)		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	芸術団体、劇場等が行う事業を支援することで、我が国の舞台芸術等の水準向上を図るとともに、優れた芸術作品の鑑賞機会を提供する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①芸術創造活動特別推進事業(平成21年度開始)⇒我が国の芸術水準向上の直接的な牽引力となる芸術水準の高い、音楽、舞踊、演劇、伝統芸能、大衆芸能の各分野の意欲的な公演や、優れた映画製作に対して支援。〔映画以外 1/3支援、映画 定額支援〕 ②芸術拠点事業(平成14年度開始)⇒公立文化会館や劇場における我が国の芸術拠点の形成につながる優れた自主企画・制作の公演等に対する支援。〔1/3支援〕 ③舞台芸術振興の先導モデル推進事業(平成20年度開始)⇒我が国の異なる分野のトップレベルの芸術団体と国内各地の芸術拠点である中核的な劇場が共同で制作する公演を支援。〔1/2支援〕 ④美術館・博物館活動基盤整備支援事業(平成21年度開始)⇒美術館・歴史博物館の地域活動基盤整備及び国際交流基盤整備のための優れた取組を支援。〔定額支援〕					
実施状況	【21年度実績】 ①支援事業数：529機関 ②支援施設数：40機関 ③支援事業数：3機関 ④支援事業数：50機関					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)			6,387	5,662	—
	執行額			6,150		
	執行率			96.3%		
	総事業費(執行ベース)			21,233		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	支出先である(独)日本芸術文化振興会より提出される実績報告書において、各芸術団体への支出状況を確認するとともに、(独)日本芸術文化振興会において、2割程度の公演を抽出し、実施されている現場に赴き、その実施されている公演内容・レベルについて計画と相違ないことを確認するとともに、チラシ等の提出を義務づけ、実施内容の把握を担保している。また、執行実態調査を実施し、実績報告書と証憑書類等の突合せを行い、国費支出の適正性を確保している。(事業①) 必要に応じ公演が実施されている現場に赴き、その実施されている公演内容・レベルについて計画と相違ないことを確認するとともに、チラシ等の提出を義務づけ、実施内容の把握を担保している。また、執行実態調査を実施し、実績報告書と証憑書類等の突合せを行い、国費支出の適正性を確保している。(事業②、③) 必要に応じ、選考にあたった協力者と職員による現地調査を実施し、実施状況を確認している。(事業④)				
	見直しの余地	現在の支援制度は芸術団体にとって、自己収入の増加等のインセンティブが働かないとの指摘があるため、よりインセンティブが働く支援方法を検討・導入する必要がある。				
予算・監査・視の効率化	1. 事業評価の観点:この事業は、独立行政法人を通じ優れた公演を行う芸術団体等に対し補助を行う「優れた芸術活動への重点的支援」、文化施設や芸術団体が制作する公演に対し支援を行う「芸術拠点形成事業」等により構成されており、昨年の事業仕分け結果の反映の観点から検証する。 2. 所見:①「優れた芸術活動への重点的支援」については、昨年の事業仕分け結果を踏まえ、平成24年度末までに1/2に縮減することとしているが、事業効果の観点から、芸術団体等にとってインセンティブが働く支援方法の導入など、より効果の高い事業への転換を図り、本事業は廃止すべきである。②「芸術拠点形成事業」については、昨年の事業仕分け結果を踏まえ、平成23年度末までに段階的に廃止することとしているが、「優れた芸術活動への重点的支援」と同様により効果の高い事業への転換を図り、廃止すべきである。					
補記	※事業仕分け(平成21年11月)評決結果:(独)日本芸術文化振興会関係(優れた芸術拠点への重点的支援(上記①)、地域の芸術拠点形成事業(上記②))は予算要求の縮減(圧力的な縮減) →予算案への対応:①3年で1/2まで縮減、②2年で廃止					

文化庁
6,150百万円

諸謝金
職員旅費
委員等旅費
芸術祭等運営費

1百万円
1百万円
2百万円
4百万円

を含む

事業①
(芸術創造活動特別推進事業)

事業②
(芸術拠点形成事業)

事業③
(舞台芸術振興の先導モデル推進事業)

事業④
(美術館・博物館活動基盤整備支援事業)

我が国の芸術水準向上の直接的な牽引力となる芸術水準の高い、音楽、舞踊、演劇、伝統芸能、大衆芸能の各分野の意欲的な公演や、優れた映画製作に対して支援

公立文化会館や劇場における我が国の芸術拠点の形成につながる優れた自主企画・制作の公演等に対する支援

我が国の異なる分野のトップレベルの芸術団体と国内各地の芸術拠点である中核的な劇場が共同で制作する公演を支援

美術館・歴史博物館の地域活動基盤整備及び国際交流基盤整備のための優れた取組を支援

【補助】

【公募・請負】

【公募・請負】

【公募・請負】

A 独立行政法人
日本芸術文化振興会
4,924百万円

B 公立文化会館
劇場
全40機関
863百万円

C 芸術団体
全3機関
195百万円

D 美術館・歴史博物館
全50機関
160百万円

我が国の芸術水準向上の直接的な牽引力となる芸術水準の高い、音楽、舞踊、演劇、伝統芸能、大衆芸能の各分野の意欲的な公演や、優れた映画製作に対して支援

公立文化会館や劇場における我が国の芸術拠点の形成につながる優れた公演を実施

我が国の異なる分野のトップレベルの芸術団体と国内各地の芸術拠点である中核的な劇場が共同で制作する公演を実施

美術館・歴史博物館の地域活動基盤整備及び国際交流基盤整備のための優れた取組を実施

【公募・補助】

E 各芸術団体等
全529機関
4,899百万円

我が国の芸術水準向上の直接的な牽引力となる芸術水準の高い公演や、優れた映画製作を実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」において
 ブロックごとに最大の金額
 が支出されている者について
 記載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるように
 記載)

A. 独立行政法人 日本芸術文化振興会			E. 財団法人 東京都交響楽団		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
助成金	芸術創造活動特別推進事業助成金	4,899	公演費	東京都交響楽団2009年度楽季定期演奏会(第678回~第695回)に係る経費	107
人件費	アルバイト	4			
その他	審査委員会謝金・旅費、審査資料印刷費、通信運搬費等	21			
計		4,924	計		107
B. 兵庫県立芸術文化センター			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
公演費	兵庫芸術文化センター管弦樂團出演公演等に係る経費	89			
計		89	計		0
C. 日本オペラ連盟			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
公演費	舞台芸術共同制作公演佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ2009「カルメン」に係る公演費	155			
計		155	計		0
D. 福岡市美術館			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
展示経費	平成21年度美術館・博物館活動基盤整備支援事業「美術館をひろげる ふかめる」にかかる経費	12			
計		12	計		0

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

ブロックB:芸術拠点形成事業

	支出先	支出額(百万円)
1	財団法人兵庫県芸術文化協会 兵庫県立芸術文化センター	89
2	財団法人埼玉県芸術文化振興財団 彩の国さいたま芸術劇場	89
3	財団法人せたがや文化財団 世田谷文化生活情報センター	78
4	財団法人石川県音楽文化振興事業団 石川県立音楽堂	74
5	有限会社アゴラ企画 こまばアゴラ劇場	74
6	財団法人静岡県舞台芸術センター 静岡芸術劇場	54
7	財団法人びわ湖ホール 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール	53
8	財団法人神奈川芸術文化財団 神奈川県立県民ホール	30
9	財団法人新潟市芸術文化振興財団 リューとぴあ新潟市民芸術文化会館	30
10	財団法人静岡県文化財団 グランシップ	27
	その他	265
合計		863

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

ブロックC : 舞台芸術振興の先導モデル推進事業

	支出先	支出額(百万円)
1	日本オペラ連盟	155
2	財団法人石川県音楽文化振興事業団	30
3	マレビトの会	10
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
合計		195

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

ブロックD : 美術館・博物館活動基盤整備支援事業

	支出先	支出額(百万円)
1	福岡市美術館	12
2	埼玉県立近代美術館	10
3	三重県立博物館	9
4	名護博物館	9
5	京都国立博物館	8
6	新潟市歴史博物館	8
7	東京国立博物館	7
8	九州国立博物館	6
9	群馬県立館林美術館	6
10	京都大学総合博物館	6
	その他	79
合計		160

「複数支出先ブロック」の支出先一覧(上位10機関)

ブロックE : 芸術創造活動特別推進事業

	支出先	支出額(百万円)
1	財団法人 東京都交響楽団	107
2	社団法人 大阪フィルハーモニー協会	78
3	財団法人 名古屋フィルハーモニー交響楽団	76
4	公益財団法人 札幌交響楽団	70
5	財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団	66
6	財団法人 読売日本交響楽団	61
7	社団法人 落語芸術協会	58
8	財団法人 新日本フィルハーモニー交響楽団	52
9	株式会社 マッドハウス	50
10	東京テアトル 株式会社	50
	その他	4,231
合計		4,899